



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター

Newsletter No.53 (2016.2.10)



シンガポール国立大学生が訪問、授業で国際交流

2015年12月17日、シンガポール国立大学で日本語を専攻している学生15名と引率の田中伊都子先生、広島シンガポール協会の中村竜裕さんを広島市立大学にお迎えしました。

本学では2月25日～3月2日まで、初のシンガポール短期研修が実施されることから、研修参加者の事前研修を兼ねた交流行事が企画され、2つの授業が語学センターで行われました。

折りしも広島では小雪が舞い、気温35度という常夏の国からやって来たシンガポール国立大学の学生の皆さんにとっても、記憶に残る貴重な経験になったようです。

目次：

シンガポール国立大学生が訪問、授業で国際交流	1
ミニコラム：国際交流推進センター 小柳昌生さん	2
イベント報告・春休み第二期機器更新のお知らせ	2
侵略された大陸の青ざめる夜と霧 エルジェ『タンタンの冒険旅行 青い蓮』 名誉教授・芸術資料館もと館長 大井健地先生	3
2015年度後期 知のトライアスロン映画上映会	4
来年度 TOEIC が変わります！	4
春休み課外インテンシブ英語学習プログラム 受講者募集中！	4

同大学の学生さんは、本部棟会議室でシンガポール短期研修参加者との和気藹々とした昼食交流会の後、語学センターで「英文構成法」(国際学部 岩井千秋教授担当)と「通訳技法論(特別授業)」(語学センター長・国際学部渡辺智恵教授担当)の授業に迎え入れられました。

英文構成法の授業では、通常の授業で交流が行われ、国際学部学生2、3名とシンガポール国立大学生2名程度が1つのグループになり、それぞれのグループでお互いの国について尋ねるなどし、得た情報を発表しました。さらに各グループが更に2つに分かれ、市大生が英文構成法の授業で日頃取り組んでいるテーマについてシンガポール国立大学の学生からアドバイスを受けました。担当の岩井教授によると、「両大学の学生同志があつという間に親しくなり、時間が短く感じられた」とのことでした。

一方、通訳技法論はシンガポール国立大学生とシンガポール短期研修参加者を交えて特別授業が行われ、スクリーンに映し出された英語や日本語の訳を素早く声に出すクイックレスポンスや、ヘッドセットをつけてペアで通訳練習をするなど、教室機能をふんだんに利用した通訳訓練の授業が展開されました。

シンガポール国立大学からは毎年本学への訪問があり、15年前の平成12年度に発行した語学センターニューズレター7号でも、同大学からの訪問の報告記事を掲載してい



渡辺教授の通訳技法論授業。教室の通訳訓練機能にも関心が寄せられた。

ます。当時は先進的な設備が印象に残ったというコメントが多かったのですが、今回の訪問者の感想コメントには、授業や学生について書かれたものも多く、半分近くは日本語のコメントでした。

《コメント抜粋》

"It was the first time working with such advanced technology in class."

"I think that the interpretation class was really interesting because it is very useful in real life."

"Class held in English was quite interesting, and it was fun to interact with the 3rd year students."

「日本の大学生と一緒に勉強するのは面白かったです。」

「自分は通訳について興味がありますから、本当に役に立ちました。」

「日本人と一緒に授業するなんて初めてでとても楽しかったです。大学生はとてもやさしくて、仲良くしやすいと思います。」

2月出発のシンガポール短期研修では、市大生が今回訪問したシンガポール大学生宅にホームステイするなど、交流がより深まっていくことが期待されます。



岩井教授の英文構成法授業。すぐに馴染んで意見を交わすシンガポール国立大学の学生と市大生。

ミニコラム 外国語に想う【45】

「パスポート」 国際交流推進センター 国際交流推進員 小柳 昌生



タイ大学院在籍中に行ったシンガポール・マレーシア研修中のバスの車内 右：小柳さん

外国にまつわる思い出は数えきれない。「そこ、私の席ですけど…」と言えずに2人用の席にベトナム人母子4人と私の5人で座った、ハノイからニャーチャンまでの24時間のベトナム統一鉄道の鈍行電車内。アメリカ・ニューヨークのユースホステル近くのマクドナルドで「ストロベリーシェイク。」と注文してできた1リットルのコーラ。デンマーク留学時、スウェーデンにあるプライエム（特別養護老人ホーム）訪問研修の帰路、くたくたになっていたのに赤ら顔のバイキングのような酔っ払い軍団の酒盛りに断りきれずに参加させられ、波にゆらゆら・お酒にふらふらしつつ、海に転落する恐怖の中、歌まで歌われた90分の船旅…。タイ留学時のある暑い夏の夜、バンコクの屋台で「唐がらし入れないで。」と注文して家に持ち帰り、ペプシコーラを浴びるように飲みながら食べた「真っ赤なパッタイ（タイの焼きそば）」。

いつでも外国は新しい世界を見せてくれる。これまでに会ったこともない人、見たこともない場所、経験したことのない出来事。そして、その新しい世界で気づく、これまでの自分ではない自分。「あの時もっと言葉がわかれば、もっと違う世界が見えたはず」という後悔はいつになっても尽きない。

外国語は新しい世界、新しい自分へのパスポート。何歳になっても、これだから海外はやめられない。

◆ イベント報告 ◆

● 留学&スタディツアー報告会

平成27年12月16日(水)に、語学センター408教室にて、留学&スタディツアー報告会が開催されました。一年間中国へ留学した小田真理子さん(国際学部4年)、イスラエル・パレスチナスタディツアーへ参加した溝口昂明さん(国際学部4年)、オランダ・ポーランド・ドイツスタディツアーに参加した川田亜美さん(国際学部3年)が現地での体験談を報告しました。参加者も熱心に耳を傾けていました。

● 留学生発表会 テーマ「留学生からみた日本のニュース」

平成28年1月19日(火)には、同センター407教室(共同研究室)にて、「留学生からみた日本のニュース」をテーマに留学生による発表会が行われました。この日発表したのは、何森さん、兪夢娜さん、何牧也さん、趙伯楽さんの4名の国際学部の中国人留学生です。それぞれ日本の出来事について、海外でどう報道されているのかを動画を使って紹介し、日本と海外との報道の違いについて自分の考えを述べました。中国のニュース番組で報道された日本の映像は、参加した学生たちの目にとっても新鮮に映った様子でした。



留学生の発表に耳を傾ける参加者

春休み第二期機器更新のお知らせ

2月10日(水)から語学センター第二期機器更新が行われます。該当箇所はセンターフロアの半分で、408教室、自習室、事務室、ホールです。機器更新の間中は、自習室の使用が出来ませんので、代わりに403A教室を自習室として開放する予定です。

スタジオ編集室	404教室	403B教室	403A教室	サハ室	ホール
グループ学習室		通訳ブース			
共同研究室	408教室	自習室	事務室		

■語学センターフロア図 *網掛け部分が第二期機器更新箇所

*2/10(水)~3/31(木) 403Aを自習開放
*上記期間中3/14(月)~3/25(金)は語学センター事務室以外封鎖しますので、自習希望者は図書館をご利用下さい。
*403A教室では、DVDの視聴が出来ません。DVDの視聴はこの期間のみ図書館を利用して下さい。(DVDの貸し出しの手続きと返却は語学センター事務室で行ってください。)

BD連帯画文エチュード 3

侵略された大陸の青ざめる夜と霧 エルジェ『タンタンの冒険旅行 青い蓮』

大井健地(名誉教授・芸術資料館もと館長)

たとえば早春の広島のエニクロ某店でよい年齢の男がカラフルなタンタンTシャツを見つけて(1着920円)迷っている。買うかいなか。買え!

シャツに付いたタグ裏面の能書き(日・英語併記)をもとにタンタンを紹介すれば、ベルギーの漫画作家エルジェ(1907-1983)がつくったこのキャラクターは愛犬スノーウィとともに(Since 1929)、世界中を冒険する。勇気と知恵で事件を乗り越える。タンタンは行動力と感受性をパーフェクトに兼備する。

職業は新聞記者。訪問国のルポルタージュ原稿を社に送ってのはずだが画になってはならない。タンタンが記事を執筆中のシーンもない。不思議を言えば彼の親兄弟は不明で、女性には縁がない。なによりの不思議はピンチに陥ってもピストルの弾がタンタンを貫くことはないという不死身で、さらに何年たっても不老で、模範的に永遠のさわやか青年であること。

不老不死性と同時にタンタンが保持する特徴に、国際性がある。タンタンTシャツのエリ首裏には日本語カタカナ、英語、仏語が混在し、シャツ本体が中国製、made in chinaであることが印刷されている。

タンタンを愛する読者が、子どもから社会人まで多世代に(「7歳から77才まで」を購買対象としたTシャツ図柄)、また1929年以来という半世紀以上の昔から今、現代の人まで歴史的に多年代に、そして国際的に多地域に(各国語版の普及。アラビア、中国、アイスランド、インドネシア、ペルシア…エスペラントやラテン語も)広く深く存在するのである。50以上の言語による、寿命永遠の国際漫画読みもの、グラフィック・ノベルなのだ(映画にもなった)。

タンタンの冒険旅行漫画には訪問した先の国家や民族がある。ストーリーは架空でも舞台は現実。住む人がいて(異文化)がある。ご当地のネイティブにとって旅行者の心ないことばで深く傷つくことはおおいにありうる。colour prejudice[有色人種への偏見]、hate crime[偏見に基づく]憎悪犯罪]に注意したい。

スノーウィの発言「白人犬のぼくがレッドスキン犬^{*1}なんかと話すって思ってたのかね こいつら」(「タンタン アメリカへ」16頁)は当然、問題があるだろう。

日本語版全24巻(1983-2007、川口恵子訳、福音館)のうち1番におすすめするのは『青い蓮』。舞台は中国。日本人が登場する。ミツヒラト氏。出っ歯、メガネのこの悪党は租界警察によって捕まりハラキリ(!)の結末となる。ヒノマルに囲まれたドテラ姿の男は「日本は大東亜の文化と秩序の守護者たることを忘れてはならないのです!お国の大義を守るためかの地にむかう勇敢なる兵隊諸君に栄光あれ!」と街頭演説している。時代背景—1931年9月



旅への誘い。シャツ購入。ファー読了。

勃発の柳条湖事件を発端とする満州事変。32年3月満州国建国。33年3月国際連盟脱退。日本人外交官が「大陸に出兵いたしましたのもすべてはこれ中国自身を守るため…!」と国連で演説しているコマがある。「このあたり^{*2}の息をのむようなシークエンスは、この物語マンガを鋭い政治カリカチュアの域まで高め」ている、『青い蓮』が優れているのは、政治的な正確さと予見であり、複雑な当時の時事状況をよくとらえている^{*3}とM.ファーは言う。

賛成。『青い蓮』はなまなましく進行形の国際事件をとりこんで、1934年8月に連載が開始されたのだ。中国服のタンタンは「日本軍にさからった罪で死刑」と記された首枷をはめられ執行前3日間、見せしめのため市中を引きまわされている。エルジェは(むろん万全ではないにせよ)政治的良心を持ち常に子どもと弱者の側に立っているのは疑いない。『青い蓮』は西側で極東アジアの実情、日本の侵略を見ぬき盧溝橋や真珠湾を予見した早い見解として評価されている。

なぜベルギーの若者エルジェに正確綿密な調査と見識が可能だったか。その理由は張充仁(チャン・チョンジェン1907-1998)がいたから。友人、張は当時ブリュッセル美術アカデミー彫刻科の留学生。同年齢。

僕らは張の書については『青い蓮』画中の塀や壁に貼られた標語で眼にできる。

「打倒帝国●義」(32頁)、「有田千頃不如薄執在身」(51頁)。そして彫刻作品については上海七宝老街の「張充仁記念館」でどうぞ。ミッテラン大統領像、鄧小平像などがある。BD聖地にしてセンターのフランス・アングレームにもエルジェ像がある。

タンタン・シリーズ2番めのおすすめは「タンタン チベットをゆく」なのだがこの巻は行方不明の張充仁探索の旅なのである。

土地の人に友を求める、それがまっとうな国際理解のはじまりだ。衣装はタンタンTシャツ、よい年齢の男がアングレームBD見本市や上海の美術館訪問を夢想する。新しいシャツを買って旅に出よう。行け!行け!

*1 スノーウィ Snowy は雪のように白い犬であり、redskin はアメリカインディアンのこと。

*2 22頁の、ふたつの演説の間の4コマは侵略された大陸の緊迫して青ざめる夜と霧を伝えて秀逸。世界はラジオ放送に耳を澄ませている(4コマめに、中国人の強制労働を見張る右側日本兵の左手がズボンのポケットに入って(暖をとって)いるのはありえないと僕は思うけど)。

*3 M.ファー『タンタンの冒険 その夢と現実』小野耕世訳 サンライズ ライセンシング カンパニー 2002年。とても参考になる、今もベストの研究、評論書。



2015年度後期 知のトライアスロン映画上映会開催



テーマ フランスの子どもたちの冒険や学校生活、日常生活

12月7日(月)～12月11日(金)に、語学センターにて、いちだい知のトライアスロン映画上映会を開催しました。国際学部の大場静枝先生にご協力頂き、「言語・コミュニケーション研究入門」との連携企画で行いました。テーマは「フランスの子どもたちの冒険や学校生活、日常生活」で、7本の作品を日替わりで上映しました。来年度も上映会を開催予定です。詳細は未定ですが、決まり次第、掲示やHPでご紹介いたします。ぜひご参加ください。

テーマ：フランスの子どもたちの冒険や学校生活、日常生活

上映映画：「プチ・ニコラ」「ぼくのバラ色の人生」「プロヴァンス物語

マルセルの夏」「ぼくの好きな先生」「パピヨンの贈りもの」「ポネット」

*番外編：「千と千尋の神隠し」(国際学部講義「言語・コミュニケーション研究入門」で使用) ©フランス語音声、日本語字幕で上映しました。

◆今回上記の作品を見逃した方は、附属図書館で視聴することが出来ます。

※「千と千尋の神隠し」は、語学センターで視聴することが出来ます。



★来年度 TOEIC が変わります！★

第210回公開テスト(2016年5月29日実施)よりTOEICテストの出題形式が一部変更されます。TOEICの出題形式が変わるのは10年ぶりで、1979年にテストが開始されて以来、2回目の変更となります。詳細は、TOEICホームページを参照してください。

本学で実施されているTOEIC IP(団体受験)については、2017年4月に出題形式の変更が予定されています。

出題形式が変更される前に、現在の形式のTOEICで高得点を目指す人は、語学センターに、TOEICの対策本や問題集も揃っていますので、ぜひ活用してください。



自習室内で学習が出来ます！教材は語学センターHPで検索が出来ます。

発行日 2016年2月10日
 発行 広島市立大学語学センター
 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1
 編集 堀本真由美、加藤美奈、福島沙奈
 <内線：6410>
 Phone (082)830-1509 Fax (082)830-1794
 E-mail lang@intl.hiroshima-cu.ac.jp
 ホームページ
<http://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html>

春休み課外インテンシブ英語学習プログラム



受講者募集中！

春休み期間中、本学学生(学部、学年不問。大学院生も可。)を対象に春休み課外インテンシブが、下記のとおり開講されます。

- 期間：3月1日(火)～3月31日(木)
- コース：リーディング・リスニング・文法プログラム
- 受講条件：毎日最低1時間以上学習すること
- 参加料：無料
- 申込期間：1月8日(金)～2月26日(金)
- *学内のコンピューターから語学センターのホームページにアクセスして、受講の登録をしてください。

※今回から受講前と受講後のTOEICを受験する必要がなくなりました。

「CALL英語集中」「eラーニング英語」と同様の内容ですが、課外インテンシブ英語学習プログラムは、休暇期間中に文字通り英語を“インテンシブ”(集中的)に鍛える、1ヶ月間のプログラムとなっています。春休み課外インテンシブは自宅からプログラムにアクセスして学習します。2ヶ月分が1ヶ月分へと凝縮されたものになり、短期間で学習することが出来ます。

この機会に春休み課外インテンシブを受講してみてください。